

令和6年度 2年 国語科 年間指導計画・評価計画

1. 目指す生徒像

学年末の到達目標 「国語を適切に表現し、理解する能力を身に付ける。」
 『知識・技能』 小学校・中学 1 年で学習した漢字の読み書きができ、教科書の新出漢字を読むことができる。
 『思考・判断・表現』 文章に即して考え、筆者の意見を捉えることができ、自分の考えを表せる。
 『主体的に学習に取り組む態度』 国語に親しむ。文章を読んで自分の考えをもち、積極的に発言することができる。

2. 評価方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	ワークシート 小テスト 定期考査	聞くテスト、スピーチ発表 グループでの発表、課題作文 ワークシート、小テスト、 定期考査	ワークシート 発表 提出物

3. 年間指導計画・評価規準

月	単元	時数	学習活動	①	②	③	評価規準（おおむね満足できる B）
4	見えないだけ	1	・好きな言葉や表現を発表する。			◎	・詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。
	アイスプラネット	4	・「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取る。 ・「ぐうちゃん」のほら話に対する「僕」の考えの変化を捉える。		◎	○	・「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を理解している。
	問いを立てながら聞く	1	・意見と根拠を整理し、疑問に思うことや確認したいことを考えながら聞く。		◎	○	・意見と根拠の結び付きに注意して聞き、疑問点や確認したい点を明確にしている。
5	枕草子 自分流「枕草子」 を書こう	3	・作者のものの見方や感じ方を読み取る。		◎	○	・現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。
	思考の視覚化	1	・教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。		◎	○	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。
	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	5	・集めた情報を分類・整理し、職業ガイドを作る。		◎	○	・調べてみたい職業を決め、知りたいことに適した方法を考えて、情報を収集している。また収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。

6	漢字 1 熟語の構成	1	・熟語の構成の種類について理解する。	◎		・熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。
	クマゼミ増加の原因を探る	4	・文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。	◎	○	・文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。
	具体と抽象	1	・具体と抽象の概念を理解する。	◎	○	・複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。
	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	5	・相手や目的にいちばん適したプレゼンテーションをクラスで選び、その理由も含めて話し合う。	◎	○	・相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。
	漢字に親しもう 2	1	・新出漢字を確認する。	◎	○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。
	文法への扉 1 単語をどう分ける？	2	・自立語の各品詞の性質などについて理解する。	◎	○	・自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文中で果たす役割について理解を深めている。
7	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	3	・メディアから適切な情報を得るためには、どのような方法で、何を確認すべきか、わかったことをまとめる。	◎	○	・適切な情報を得るためには、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気付いている。
	短歌に親しむ 短歌を味わう [書く] 短歌を作ろう	4	・目にした情景、心に残る出来事や感動したことなど、題材を探して短歌を作る。	◎	○	・情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。
	言葉の力	2	・美しい言葉、正しい言葉に対する筆者の考え方について、自分の意見を考える。	◎	○	・言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。
	言葉 1 類義語・対義語・多義語	2	・類義語・対義語・多義語について理解する。	◎	○	・類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。

9	言葉を比べよう もっと「伝わる」 表現をみざして	1	・言葉を分類して、類義語 を理解する。	◎	○	・抽象的な概念を表す言葉について理解し、類義語の微妙な違いを考えることを通して語感を磨いている。	
	読書を楽しむ	1	・教材文を通読し、さまざま な読書活動を知る。	◎	○	・活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。	
	翻訳作品を読み 比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」 は人生の宝物 読書案内 本の 世界を広げよう	1	・「星の王子さま」や読書コ ラムを読み、「翻訳」の意味 や、翻訳作品・外国文学の おもしろさについて理解す る。	◎	○	・翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、他の翻訳作品を楽しもうとしている。	
	盆土産	4	・人物の言動や様子を描い た表現から読み取れる、人 柄や心情について考える。	◎	○	・登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。	
	字のない葉書	3	・表現に着目して、人柄や 心情について読み取る。	◎	○	・前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、人柄や心情を読みとっている。	
	聞き上手になろ う	1	・思いや考えを引き出すた めにどのように質問したら よいかを考える。	◎	○	・話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。	
	表現を工夫して 書こう 手紙や電子メー ルを書く	3	・相手や目的に応じて敬語 を用いる、気持ちや用件が 伝わるように具体例を入れ るなど、表現の工夫を理解 する。	◎	○	・自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。	
10	[推敲]表現の効 果を考える	1	・手紙の下書きを読み、適 切な文字や表記に書き改め る。	◎	◎	○	・読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちがより伝わるような表現に書き改めている。
	言葉2 敬語	1	・敬語の働きや種類につい て理解する。	◎	○	○	・敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。
	漢字2 同じ訓・同じ音 をもつ漢字	1	・同じ読みで意味の異なる 言葉（同音異義語）の使い 分けについて理解する。	◎	○	○	・同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。

11	モアイは語る ——地球の未来	4	・筆者が序論で示している問いと、それに対する答え、また、答えの根拠として挙げられている事実との関係を理解する。	◎	○	・筆者の意見（主張）がどのような根拠によって支えられているかを理解する。	
	根拠の吟味	1	・根拠を吟味する方法を理解する。	◎	○	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	
	根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く	4	・文章を読んだり、相手の話を聞いたりするときには、根拠を把握し、その根拠に説得力があるかどうかを吟味することが大切だということを理解する。	◎	○	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。	
	漢字に親しもう 4	1	・新出漢字を確認する。 ・練習問題に取り組む。	◎	○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。	
	[討論]異なる立場から考える	1	・賛成・反対の立場を決め、意見を支える根拠を考える。 ・一つの情報が、賛成・反対どちらの根拠にもなり得ることを理解する	◎	○	・同じ情報を基にしたり、同じ観点で考えたりしても、立場によって異なる意見になり得ることに気付いている。	
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	4	・自分の立場を決め、意見と根拠をまとめる。 ・異なる立場の人の考えを予想し、それに対する答えを考える。	◎	○	・異なる立場の人の考えを予想しながら考えをまとめている。	
	音読を楽しもう 月夜の浜辺	1	・七音の繰り返しのリズムや反復の効果を味わい、情景や心情を想像しながら読む。	◎	○	○	・詩の中の反復表現、対句表現、反語表現に着目し、その効果を考えている。
	音読を楽しもう 平家物語	1	・冒頭部分を音読し、独特の調子とリズム、言葉の響きを味わう。	◎	○	○	・漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。
扇的 —— 「平家物語」から	3	登場人物の言動から、心情を考える。	◎	○	○	・与一や義経の言動、扇的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。	

12	「仁和寺にある法師」	3	・法師の勘違いについて、作者がどのように捉えているかを原文から考える。	◎	○	・現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。
	漢詩の風景	3	・漢詩に歌われている季節、情景、作者の心情を捉える。	◎	○	・好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を理解している。
	君は「最後の晩餐」を知っているか	4	・「最後の晩餐」(P173, 174)の図版と本文を結び付けて読み、「解剖学」「遠近法」「明暗法」が使われているところを理解する。	◎	○	・筆者が、どのような例示(具体)を基に、「最後の晩餐」を「カッコいい。」(抽象)と述べているのかを理解している。
	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	2	・作品を知らない人が具体的にイメージでき、作品を見たいと思うような文章であるかという視点をもって鑑賞文を書く。	◎	○	・作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様子を具体的に説明している。
	漢字に親しもう 5	1	・新出漢字を確認する。	◎	○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。
	文法への扉2 走る。走らない。 走ろうよ。	2	・動詞の活用について理解する。	◎	○	・用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。
1	研究の現場によるこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃 クモの糸でバイオリン	1	・教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、初めて知ったこと、興味をもったこと、疑問に思ったことなどを伝え合う。	◎	○	・教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。
	走れメロス	6	・村から刑場に向かう途中で、「メロス」の考え方や心情は、どんな場面でどのように変化しているかを考える。 ・刑場で「王」の人物像は何をきっかけにどう変化したかを考える。	◎	○	・「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。

2	漢字に親しもう 6	1	・新出漢字を確認する。	◎	○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。	
	文法への扉 一字違いで大違い	3	・付属語の種類について理解する。 ・助動詞の働きについて理解する。	◎	○	・助詞、助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。	
	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く	4	・構成や展開を工夫して物語を書く。	◎	○	・起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理している。	
	言葉3 話し言葉と書き言葉	2	・音声の特徴から話し言葉を捉え、文字の特徴から書き言葉を捉える。	○	◎	○	・話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。
	漢字3 送り仮名	2	・送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。	◎	○	○	・送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。
3	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	5	・新聞にまとめることを意識させ、結論を見出しに、壁新聞を作る。	◎	○	○	・伝えたいことの優先順位を考えて、記事の大きさや割り付けを工夫している。
	木	2	・第三連の「木は囁いているのだ」「歩いているのだ」「走っているのだ」は、木のどのような様子を表しているかを考える。 ・作者の考える「愛」や「正義」がどんなものなのかを考える。	◎	○	○	・「愛」、「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。 ・自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。
	学習を振り返ろう	3	・自分が卒業生に言葉を贈るとしたら、どんな言葉を選ぶかを考え、出典を明らかにして、その言葉と選んだ理由を書く。	◎	○	○	・卒業生に贈る言葉を考え、出典や理由を明らかにして、話の構成を工夫している。